

## グリーン・ツーリズムに関する講演会開催

大田原市グリーン・ツーリズム推進協議会の設立に伴い、グリーン・ツーリズム事業が開始しました。グリーン・ツーリズムとは、農山漁村地域において自然、文化、人々の交流を楽しむ滞在型の余暇活動です。

本事業は、大田原市の自然、文化、人々と都市住民の交流を促進して観光を活性化させるとともに、地元農林水産物の消費拡大および収益改善によって農業の担い手のモチベーション向上を図り、地域全体の活性化を目標としています。市民の皆さまのご理解・ご協力があつて初めて成功する事業です。

市民の皆さまにグリーン・ツーリズムがどのようなものであるか詳しく知っていただくために講演会を開催します。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

●日 時 7月26日(木)

午後2時～5時

●場 所 市総合文化会館ホール

●内 容 グリーン・ツーリズムについて

～大田原と全国の状況～

●講 師

(財)都市農山漁村交流活性化機構  
業務部 次長

花垣 紀之氏

長野県飯田市職員

竹前 雅夫氏



●参加費 無料

●申込方法

事前申し込みは必要ありません。当日、会場にお越しください。

●主 催 大田原グリーン・ツーリズム推進協議会、大田原市

●問い合わせ 文2階

商工観光課観光交流係

TEL (23) 8709

## 大田原市「夏」の節電方針

### ～市の取り組みと皆さんへのお願い～

昨年の夏は、皆さんのご協力をいただき非常に高い節電効果が得られました。

市では、この夏も引き続き率先して節電に努めます。市民の皆さまのご協力をよろしくお願いします。

●節電の実施期間

7月から10月までの平日

●節電の目標

午前9時から午後8時までの使用電力を、平成22年度(震災前)比15%削減(市役所は20%)

## 市役所の取り組み

職員一人ひとりが節電に対する意識を持ち、率先して取り組みを推進します。

## 大田原市役所の節電方針

- 1 クールビズの推奨(5月～10月)
- 2 ノー残業デー(通年毎週金曜日)

## ご家庭の皆さんへのお願い

- 1 使用電力の削減にご協力を
- 2 節電の参考として、「ご家庭でお願いしたい取り組み」をご覧ください。
- 3 熱中症に注意
- 4 冷房時の室内温度28度の徹底
- 5 事務所内照明の節減
- 6 使っていない部屋や廊下の消灯、空調停止
- 7 昼休み消灯
- 8 パソコンのスタンバイモード設定
- 9 コピー機、パソコン、プリンターなどの使用台数制限および退行時プラグ抜き
- 10 使用頻度の低い機器(シュレッダーなど)は使用時のみプラグ挿入
- 11 電気湯沸ポット、コーヒーマーカークなどの使用削減
- 12 マイボトル持参、涼感グッズ活用
- 13 暖房便座の温度調整



- ① 熱中症にならないために(予防)
  - ・体調を整え、具合の悪い場合は暑
- ② 熱中症に注意
  - ・節電期間中であっても、生命や身体
  - ・体の安全が最優先です。熱中症・
  - ・脱水症状などに十分注意してください。
  - ・特にお年寄りや子ども、身体
  - ・の具合の悪い方などは、無理を
  - ・しないようにしましょう。

## 事業所の皆さんへのお願い

い日中の外出を控えましょう  
 ・通気性の良い衣服を着て、外出時には帽子をかぶりましょう  
 ・のどの乾きを感じる前にこまめな水分補給を  
 ② 熱中症になったときの対策  
 ・涼しいところに連れて行き、横にする  
 ・スポーツドリンクなどナトリウムを含んだものを飲ませる  
 ・アイスパックなどで首、脇の下、ももの付け根を冷やす  
 ・意識がはっきりしないときなどは救急車を呼ぶ

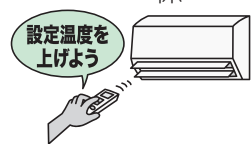


- (1) 冷房時の室内温度28度
- (2) 照明の削減、使っていない部屋や廊下の消灯、空調停止
- (3) O A機器のスタンバイモード設定  
または長時間席を離れるときの電源オフ

●問い合わせ A2階

政策推進課政策推進係

TEL (23) 8701



## ご家庭でお願いしたい取り組み

### 節電チェックリスト

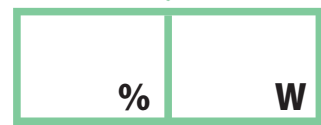
	お願いしたいこと	節電効果		チェック
		削減率	削減消費電力	
エアコン	①室温は28℃を目安にしてください。	10%	130w <small>設定温度を2℃上げた場合</small>	<input type="checkbox"/>
	②“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげ、エアコンの消費電力の抑制をお願いいたします。	10%	120w	<input type="checkbox"/>
	③無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機をご使用いただきますようお願いいたします。 <small>※除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは電力の増加になるのでご注意ください。</small>	50%	600w	<input type="checkbox"/>
冷蔵庫	④設定温度が「強」の場合は「中」へ変更し、扉の開ける時間をできるだけ減らし、食品の詰め込みすぎに注意してください。	2%	25w	<input type="checkbox"/>
照明	⑤日中は照明を消して、夜間も点灯している照明をできるだけ減らしてください。	5%	60w	<input type="checkbox"/>
テレビ	⑥省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要な時以外は消してください。	2%	25w <small>標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合</small>	<input type="checkbox"/>
温水洗浄便座 (暖房便座)	⑦便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能がある場合はこれらを活用してください。	1%未満	5w <small>左記いずれかの対策により</small>	<input type="checkbox"/>
	⑧夏はコンセントからプラグを抜いてください。			<input type="checkbox"/>
ジャー炊飯器	⑨早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊飯して、冷蔵庫に保存してください。	2%	25w	<input type="checkbox"/>
待機電力	⑩リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切り、長時間使用しない機器についてはコンセントからプラグを抜いてください。	2%	25w	<input type="checkbox"/>

※節電効果の記載値は資源エネルギー庁の推計です。  
(在宅世帯の日の平均的消費電力[14時:約1,200W]に対する削減率と削減消費電力の目安。小数点以下を切り捨て)

エアコンの控えすぎによる熱中症などにご注意いただき、無理のない範囲で節電へのご協力をお願いいたします。

削減率の合計が15%を超えるようご協力をお願いいたします。

外出されている時も、④、⑦、⑧、⑩の対策への取り組みをお願いいたします。



### ～家庭で使用する主な電気製品の定格消費電力～

夏(7月～9月)の平日9時～20時は、消費電力の大きい電気製品のご使用をできるだけ控えていただきますようお願いいたします。

電気製品	定格消費電力
エアコン	750～1,100W
扇風機	34W
冷蔵庫	200～300W
電球形蛍光灯	12W
白熱灯	60W

電気製品	定格消費電力
液晶テレビ	50～150W
DVDレコーダー	40W
パソコン	45W
ジャー炊飯器	1,300W
電子レンジ	1,400W

電気製品	定格消費電力
IHクッキングヒーター(3口)	5,800W
掃除機	1,000W
アイロン	1,400W
洗濯乾燥機(乾燥)	1,100W
温水洗浄便座(瞬間式)使用時	1,200W

出典:資源エネルギー庁調べ 上記は定格消費電力の一例であり、実際の消費電力は、製品の種類や使用方法等により異なります。

©東京電力(平成23年6月)

■問い合わせ 政策推進課政策推進係 TEL (23) 8701